

西部
(磐田市)共生型福祉施設
(指定サービス)社会福祉法人八生会
ケアハウス ゆやの里

地域の中で0~100歳が共に生きられるように

ケアハウスと小規模多機能型居宅介護、保育園が併設されている「ゆやの里」。保育園の子どもたちの存在は、高齢者の元気の源です。ウッドデッキや施設内で遊ぶ子どもたちの様子に、目を細める高齢者の姿がよく見かけられます。合同で行われる「おやつ会」や近くの公園までの「散歩会」などを定期的に行い、高齢者と子どもたちが交流する機会を作っています。また、地域の方々との「顔の見える関係づくり」の為に、シニアクラブやサロン、子育て支援サークルの方々に、地域資源として施設開放しながら交流を図っています。サロンやカラオケにはゆやの里の入居者の方も参加させていただき、地域の一員として一緒に楽しめています。



保育園の子ども達と一緒に絵本を読む時間はとても和やか

メッセージ

施設長
白木 孝典さん

団塊世代の方々が75歳以上になる2025年を目標に、国は「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。社協、介護・医療の事業所、行政そして地域の皆様のご協力を得ながら進めていく必要があります。様々な団体や地域の方々と繋がる事によってニーズを的確に把握し、困りごとを支援できるように、社会福祉法人の役割としても、地域の拠点としての機能を担っていけるよう努力していきます。

ここに注目!!

地域に開かれた
施設であるための取組

入居者以外にも一般の人も利用可能な喫茶「ほのか」。金曜日には定食などのメニューも。地域のコミュニティーの場としても機能しています。



保育園が縁で「子育て講演会」を研修室で開催することに。事前の打合せにも利用しています。



多目的ルームではカラオケもでき、シニアクラブのサロンとしても利用されています。

メッセージ

所長
渥美 幸子さん

一人一人がかけがえのない存在です。その人が住み慣れた在宅でできるだけ暮らせる事を重視し、いくつになっても個人として輝けるよう、一人一人に対応した支援をしています。ご利用者だけでなく、ご家族の気持ちにも寄り添えるよう心がけています。また、地域の方が困ったとき、セーフティネットとなる施設でありたいので、今後も地域と連携したさまざまな取り組みをしていきたいです。

ここに注目!!

敷地内にある畠では1年を通して野菜が栽培され、経験のある高齢者が中心となり手入れを行っています。収穫した野菜は、昼食の食材になったり、「こども園」の保護者に販売されたりしています。



イベントでは地域の人の協力も。まだ介護が必要でなくても、将来自分がどういう老後を送りたいのか考えてもらう機会として、地域の人との座談会も開催しています。今後は講演会なども企画する予定です。

DATA

☎(0538)30-6100

磐田市加茂395

FAX/0538-30-6330

URL/http://www.hashoukai.or.jp/

E-mail/yuya@hashoukai.or.jp

アクセス/JR磐田駅から遠鉄バス磐田天竜線
「気賀坂」下車、徒歩10分

駐車場/有

※視察は事前の電話連絡必要



経緯

昭和60年 「一空園」を開設
平成6年 「豊田一空園」を開設
平成16年 「あんしんの里」を開設
平成19年 「梅香の里」を開設
平成24年 「ゆやの里」を開設

運営

運営主体:社会福祉法人八生会
代表者:栗野 裕治(理事長)・白木 孝典(施設長)

DATA

☎(053)423-0066

浜松市東区下石田町321

FAX/053-423-0067

URL/http://www.asobigakuen.jp/publics/index/22/

E-mail/asobikeahigashi@chic.ocn.ne.jp

アクセス/JR浜松駅から遠鉄バス産業展示館
行き「産業展示館」下車、徒歩10分

駐車場/有

※視察は事前の電話連絡必要

経緯

平成8年 「あそび塾(平成11年「あそび学園」に名称変更)」を設立
平成12年 「浜っこ保育園」と「㈱あそび学園」を設立(平成14年に統合)
平成20年 「あそびこども園浜松」(地方裁量型認定こども園)を設立
平成21年 小規模多機能型居宅介護事業所「あそびケアホーム東」を設立
平成24年 「袋井あそびこども園」と「あそび食品」を設立
平成27年 「あそび西ヶ崎保育園」を設立

運営

運営主体:株式会社あそび学園
代表者:馬塚 孝雅(代表取締役)

経緯

平成26年

65

東区役所

ローソン

26

現地

セブンイレブン

JA

JA